

高南小学校 第 1 学年 「 算数科 」 シラバス

学年の学習到達目標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法（たしざん）および減法（ひきざん）の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して、量と測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。

評価方法

単元ごとの評価規準を設け

単元ごとのテスト

ドリル学習

授業中の意欲・態度

ノートのと리카タ

プリント学習

家庭学習

などにより総合的に評価します。

おうちの方へ

児童の思考の援助として、具体物やプリント等を用意して授業を展開します。

一人ひとりの児童へのきめ細かな指導をめざし、個人指導を充実させるなどして、基礎基本の徹底を図っています。

たし算・ひき算の学習では、繰り返し学習が大切ですので、家庭での練習が必要になります。計算カード練習などのご協力をお願いします。

月	学習すること	学習のねらい
4	もりにいこう	・仲間作りをし、個数を数える。(10まで)
5	10までのかず	・対応などの操作によって、ものの個数を比べ、対応で大小を知る。
	いくつといくつ	・身近な生活の場面から、10までのものの個数を数を用いて正しく表すことができるようにするとともに、10までの数の概念について理解する。
	なんばんめ	・ものの個数を数えることなどの活動を通して数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。
		・個数や順番を正しく数えたり表したりする活動を通して、順序数と集合数の関連を理解する。
6	たしざん(1)	・前後、上下、左右などの言葉を正しく使ってものの位置を表すことができる。
7	ひきざん(1)	・加法について理解し、加法を用いることができる。
9	かたち	・具体的な場面から減法の意味について理解し、それらを用いることができる。
	10よりおおきいかず	・身近な立体についてや、ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層豊かにする。
10	かずをさがそう	・ものの個数、順序などを数を用いて正しく表すことができるようにするとともに、数の概念について理解できるようにする。
	たしざん(2)	・数に関心をもち、身の回りからいろいろな数のものを見つけることができる。また、学校にあるいろいろなものを数えることができる。
11	ひきざん(2)	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の場面と計算の仕方を理解する。
		・1位数と1位数との加法の計算の技能を確実に身に付ける。
		・一つの数を他の数の和としてみることができる。
12	たすのかなひくのかな	・減法の用いられる場面の理解を深める。
		・1位数と1位数の繰り上がりのある加法の逆の減法の計算の仕方を考える。
		・1位数と1位数の繰り上がりのある加法の逆の減法の計算が確実にできる。
		・一つの数をほかの数の差としてみることができる。
1	ながさくらべ	・加法・減法のどちらを適用して解かばよいかを判断できるようになり、式を作り答えを求めることができる。
		・絵や図に表すなどして、問題場面を説明することができる。
2	おおきなかず	・ものの長さを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
		・長さを具体的な操作で比べる。
		・身近にあるものの長さを単位として、そのいくつかで長さを比べる。
3	1年のまとめ	・ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。
		・具体的な物事について、まとめて数えたり等分したりし、それを整理して表すことができるようにする。
		・1年で学習したことをまとめ、復習する。